



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs 224)

土砂災害警戒区域等拡大図



浸水深の色の見方	浸水深	水深の目安
	5.0m	2階の軒下までつかる程度
	3.0m	
	2.0m	1階の軒下までつかる程度
	1.0m	1階の床までつかる程度
	0.5m	1階の床下までつかる程度
	0.1m	1階の床下までつかる程度

浸水予想区域図とは

この地図は、「野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図(令和元年6月)」「石神井川及び白子川流域浸水予想区域図(令和元年5月)」「東京都都市型水害対策連絡会作成)及び「北多摩一号処理区、北多摩二号処理区流域浸水予想区域図(令和2年3月)」「東京都下水道局流域下水道本部作成)を使い、**想定し得る最大降雨(総雨量690mm、時間最大雨量153mm)**が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される水深を表したものです。

ご注意ください!

降雨状況によっては、想定される水深以上の浸水や浸水想定区域以外の浸水が起こる恐れがあります。
また近年の局地的な豪雨では、下水道があふれることにより思わぬ浸水を起こすことがあります。

土砂災害(特別)警戒区域とは

- ・土砂災害警戒区域 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
- ・土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危険が生じるおそれがある区域

急傾斜地崩壊危険箇所とは

傾斜 30°以上、高さ 5m 以上の斜面で、がけ崩れが発生した場合に人家などへの被害のおそれがある箇所を指します。

こんな現象を、見たら〜聞いたら〜、早めの避難

- 地鳴りがする
- 腐った土のにおいがする
- がけに割れ目が見える
- がけや斜面から水が湧き出た
- 地面にひび割れができる
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く
- がけから小石がバラバラと落ち、ふき出す
- ちる

前兆現象に気を配り、危険を感じたら安全な場所に避難しましょう。



地域危険度測定調査について

東京都では、地震に強いまちづくりを進める参考として、また、都民の皆さんに防災への関心を高めていただくため、概ね5年毎に「地震に関する地域危険度測定調査」を実施し、調査結果を公表しています。※今回で8回目の公表となります。(平成30年2月発表)

地域危険度の種類

この調査では、都内の各地域(5,177町丁目)において、建物の倒壊と火災の2つの危険性について5段階の相対評価を行い、危険度の高さを明らかにしました。

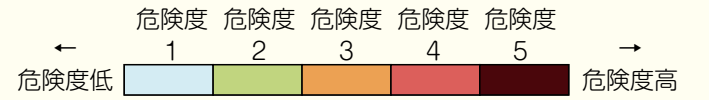
- 1 総合危険度 建物倒壊と火災の二つの危険度と災害時活動困難度を1つの指標にまとめて総合的な危険度を示したものです。
- 2 建物倒壊危険度 地盤や建物の構造などから建物が壊れたり傾いたりする危険性の度合いを示したものです。
- 3 火災危険度 建物の構造や密集具合などから出火の可能性と延焼の危険性を測定して示したものです。
- 4 災害時活動困難度 災害時の避難や消火・救援活動のしやすさ(困難さ)を示したものです。

右図では総合危険度の各ランクを下記の色分けで表示しています。あなたのまちの地域危険度の詳細については、下記のホームページにアクセスするか、東京都都市整備局へお問合せください。

地震に関する地域危険度測定調査

https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa_6/home.htm

【問合せ先】 東京都都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり課 電話 03-5320-5003



※危険度が低くても、絶対に安全というわけではありません。

災害時活動困難度を考慮した総合危険度図

